



# 来週の投資戦略 (5/10-14)

## 驚きは残っている？

2021年5月9日

小松 徹

### 注目事項 — 見所

主要企業決算 — まだ驚きは残っている？

5月13日、4月の景気ウォッチャー調査 — 先行きは43.5に大幅悪化？

### 株式市場見通し

来週で3月期決算企業の発表がおおよそ出そろおう。前期決算はアナリストの予想以上の回復ぶりが目立ったが、今期の会社計画はこれまで慎重なものが多かった。最大の理由は緊急事態宣言が主要都道府県に出る中で、通常の経済活動を前提にするのが難しい点にある。特に、わが国だけが新型コロナワクチンの接種率が3%程度でしかない。国民はこれまで政府から何度もワクチン接種に関して希望的な数値をもらってきた。今回も菅首相から1日百万人接種するとの発言があった。経営者はもっと慎重で現実的な前提で計画を作成している。

来週は水曜日が決算発表のクライマックスになる。時価総額1位のトヨタ自動車(7203)が午後1時10分に、2位のソフトバンクグループ(9984)が引け後に発表する。トヨタはこれまで発表したグループの好決算からかなり良い今期業績計画が出よう。アナリストは営業利益が2兆70百億円、純利益が2兆34百億円(推定前期比16%増)と予想している。一方、SBGは前期純利益をアナリストが3兆61百億円と予想、今期は1兆17百億円と予想している。当社の業績を予想するには投資対象や上場予備軍の株価予測をしなければならないので、ほぼ不可能で、かつあまり意味もない。孫会長の独演会で経営方針を聴くことが大切だ。

このように投資家は発表数値だけでなく、説明会で内容を吟味することも求められる。例えば、4月30日に発表したANAホールディングス(9202)の今期業績計画が良い例だろう。会社は今期純利益を35億円の黒字になると発表した。アナリストは602億円の赤字を予想していたので、会社の前提に同意できれば、5月の取引開始日から株価は大幅上昇したはずだ。ところが、実際には2.8%しか上がらなかった。今後アナリストが会社の前提に沿って業績を大幅上昇修正するか、推移を見たい。先週末に業績予想を出さなかった日本航空(9201)はどのように評価されるか。

最後に、今月主要株価指数が2月の時のような元気を取り戻せるか。先に挙げた時価総額上位企業はもちろん、来週決算発表する一部メガバンクの会社計画に驚きがあるかも大切だ。先週金曜日ザラ場中に発表された日本製鉄(5401)がそうした流れの切っ掛けになるかもしれない。連日更新されるだろう新型コロナウイルス患者数と重症患者数にも負けず、ワクチン接種者数の増加に期待する楽観的な投資家がどれだけ市場に参加するか、分かれ道になりそうな局面だろう。

### KPAの投資戦略

ロング (買い)	ショート (売り)
好財務の割安株、今期大幅増益株	高PB低位株、高PE新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。本レポート執筆時点で、KPA 役員あるいはKPAのお客様はトヨタ自動車を保有しています。